

2021.10.14. 木曜礼拝

「裁きは定め」

Mac 牧師

こんばんは。JD 牧師の代講です。カルバリーチャペル・カネオへの木曜日の夜のライブ配信・礼拝へようこそ。通常は、聖書を一行ごとに学び進める旧約聖書の学びをしていますが、しかし今夜は、話題性のある学びを行います。始める前に、祈り、神に祝福をお願いしましょう。

天のお父様。主よ、今夜は、私が本当に、本当に重い気持ちであなたに頼る必要のある夜の一つです。あなたがすべての言葉をコントロールしてくださるよう祈ります。私たちの心の中へ浸透していきますように。主よ、私たちが一緒に過ごすこの時間をどうか祝福ください。聞いている人全員が、その人の背景や信念に関係なくその為に、あなたの下へ来て、より強い証人になりますように。深刻なメッセージです。私たちは誰もがそれを聞く必要があり、耳を傾けなければなりません。あなたが今、私の前を行かれ、あなたの御力の強さでなされるのを感謝します。救世主、イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。

今夜の私たちの学びのタイトルを、『裁きは定め』と付けました。この学びでは、私が行ってきた他のどんな学びとも異なります。主が、邪悪な者に裁きを下されることに関して、神の御言葉がどう仰っているかを見たいと思います。その裁きは、主お一人が握っておられるからです。主は愛の神で、しかし正義の神です。こんにち、ここアメリカで起こっていることを見るのはとても辛いことです。事実、全世界において、大変歪んでいます。人間の墮落度は終わりがなく、限界を超えています。私たちは、世界規模での殺人を目撃しています。人間の邪悪で悪魔的な心のせいで。現在、生活のあらゆる分野に悪が存在しています。まるで、悪がこう言っているかのようです。「止めれるものなら、止めてみれば？」邪悪さそのものが最高潮に近いのではないかと思います。クリスチャンである私たちは、すべての結末を知っているにもかかわらず、世界中の人々がこれほどまでに騙され、これほどまでに邪悪になってしまうのか、いまだに信じられない自分がいます。これは、その欺瞞（惑わし）の始まりに過ぎないと考えます。この世は、大きな欺瞞に直面することになります。こんにち私たちの目の前にあるものよりずっと大きな惑わしに。その惑わしは現実です。惑わされないための方法はただ一つ、真理を知ることです。その真理とは、イエス・キリストに他なりません。惑わされないことに関して、主の御言葉が何度も語っています。このことが、「マタイの福音書 24 章 4 節」に記されています。お読みします。

マタイの福音書 24

4 そこでイエスは彼ら（弟子達）に答えられた。「人に惑わされないように気をつけなさい。」人に惑わされないように気をつけなさい。」

惑わしは、偽りによってもたらされます。そして偽りの父は、悪魔です。悪魔は、最も邪悪な霊的な暗黒の力で、最初から人殺しであり、全世界をその影響下に置いています。彼は惑わしの親分で、邪悪の化身であり、すべての邪悪なものの推進者です。これらは、悪魔にまつわる属性のほんの一部で、彼がどれほど暗くて邪悪な存在であるかは、一晩中話せますよ。しかしポイントは、彼は全世界を欺く報道機関であるということです。彼は自分の運命が決まっていることと、その裁きを覆すことができないのを知っています。なぜなら聖書に書いてあるからです。聖句を破ることはできません。サタンと手を組む者はすべて、悪のために用意されているこの裁きに直面し、私たちの神が管理することになります。はっきり言っておきます。真の生ける神につながっていない人は全員邪悪な存在です。すべてです。そして、この

裁きに直面します。私たちはクリスチャンとして、邪悪なものに対する適切な考え方を持たなければなりません。ある意味、自分の方が優れているような感情に流されてはいけません。それが問題です。私たちはなお、邪悪な人のために祈る必要があります。邪悪な者に対して、私たちの光を輝かせながら。私たちの気持ちには関わらず。「エゼキエル書 33 章 11 節」神の御言葉をお読みします。

### エゼキエル書 33 章

11 彼らにこう言え。『わたしは生きている——神である主のことば——。わたしは決して悪しき者の死を喜ばない。悪しき者がその道から立ち返り、生きることを喜ぶ。“立ち返れ。悪の道から立ち返れ。”イスラエルの家よ、なぜ、あなたがたは死のうとするのか。』

”わたしは決して悪しき者の死を喜ばない。””悪しき者がその道から立ち返り、””悪しき者が邪悪な道から立ち返り、生きることを喜ぶ。” このことが、私たちに真の生ける神の御心を思い起こさせるはずで。神は、長い間苦しんでおられ、誰も滅びることを望んでおられません。全ての人が悔い改めるのを願っておられます。(第二ペテロ 3:9 参照)

私たちはそのことを、忘れないようにしたいです。これほどまでに愛せるのは神だけです。また、忘れてはならないのが、私たち多数に対して、神は長い間ご忍耐されていたことです。私は自分を分っています。邪悪です!! 邪悪。邪悪。神を褒めたたえます。神は長い間ご忍耐下さいました。私は大変感謝します。先ほども言いましたが、主から離れている人は皆、邪悪と思われていると認識します。時に、組織や国家の中に、非常に邪悪な人がいます。それが許されているのは、不当としか言いようがありません。つまり、彼らのために祈ることは、ある意味、時間の無駄とも言えるほど邪悪なのです。少なくとも、時に私はそう感じます。私はただ正直なだけです。自分の気持ちが入るとこうなります。彼らのために祈るってか??? しかし、私はなおも、彼らのために祈らなければならないことを知っています。同時に彼らを暴露し、悔い改めず、真の生ける神への反逆を始めるなら終わりが来ることを警告するのです。

先日の日曜日は、“死”について話しましたね。未信者の 75%が、死に対して無関心であると主張しています。しかし神の御言葉によれば、真理の神御自身の、真理の御言葉は、いわゆる善良でありながら、悪で邪悪な小さな心の持ち主はキリスト・イエスと与かっていないなら、自分の死を非常に心配しなければなりません。神の裁きは本物です。私たちは火の池を見ます。それは最終的な結論です。地獄の死とは、火の池に投げ込まれること。地獄が先です。それは、キリスト・イエスに与っていない者に訪れます。もし彼らが死んで、唯一楽しみにするのは、地獄での、ましな区画のみです。以上です。イエス・キリストにないなら、それまでです。聖典に基づいて、地獄に苦しみのない場所はありません。多くの書籍が、様々な罰の度合いや地獄のレベルを説明しようとしています。ダンテの『インフェルノ』もその一つです。しかし、地獄の恐ろしさを詳細に説明できる人は誰もいません。死んで地獄に行き、頻繁に戻って来たと仰る人、それは聖書的ではありません。例えば、そういう人たちは、サタンが下にいて、罰を与える、彼が地獄の王座に座っているのを見たと話します。それは事実ではありません。それは聖書的ではありません。誰が地獄に行くかは、神がお決めになられ、神が、その罰を管理しておられます。神です。サタンではありません。「詩篇 139 篇 7 節~8 節」神の御言葉をお読みします。

### 詩篇 139

7 私はどこへ行けるでしょう。あなたの御霊から離れて。 どこへ逃れられるでしょう。あなたの御前を離れて。

8 たとえ 私が天に上っても そこにあなたはおられ 私がよみに床を設けても そこにあなたはおら

れます。

神の裁きに関連するいかなる種類の罰則も、悪魔のものにしてはいけません。悪魔にはそのような権限はありません。悪魔がどんな力や影響力を持っていても、神が許可されたものだけです。御言葉の中に、神からしか生まれえない善の性質と、神に繋がっていないあらゆる人から生まれる悪の性質の違いが語られています。私たちの魂の究極の審判が下されるとき、私たち全員は、ある時点で復活します。永遠の状態へ入り、神によって正当に裁かれます。この種の裁きのすべてが主のために用意されています。先ほど、真理ではなく嘘を受け入れることで惑わされるという話をしました。そして、そのような生活の中から、嘘や邪悪なものが溢れてきます。自由と機会に満ちたいいわゆる善良な国の中で、いわゆる良い組織の中で働く、いわゆる良い人たちのグループが、嘘を受け入れ始めたらどうなるでしょう？ 何が起こるかというと、邪悪なものがはびこります。それが起こります。こんにち、このようなことが、今まで見たことのないレベルで行われているのです。露骨な嘘を受け入れられています。この邪悪さのすべてを繁栄していることによる副産物があります。「マタイの福音書 24 章 12 節」神の御言葉をお読みします。

## マタイの福音書 24

### 12 不法がはびこるので、多くの人の愛が冷えます。

その副産物が分かりますか？ 不法が増加し、愛は減少します。多くの人の愛が冷めます。他人への思いやりがほとんどありません。ここで愛という言葉が使われているのは、兄弟愛という意味です。互いを思いやる気持ちです。それが無くなってしまい、ほとんどの人が自分のことだけを気にします。これがアメリカの現状ではないでしょうか。これらはすべて、嘘を受け入れ、真実を拒絶することで生じます。今、社会の様々な分野の第一線で活躍する数少ない真理を持つ方々は、本当に残念に思います。辛うじて仕事を続けている状態で、嘘を受け入れている多くの同僚と一緒に仕事をしなければなりません。彼らのすぐ隣にいるのですから。彼らは、補佐や不法を行う政策や実践を受け入れます。彼らが何をするかご存知ですか？ 倫理の旗の下にすべてを置きます。上層部からの命令を受けながら。こうやって、皆が口を揃えて言うのです。「自分の仕事をしているだけ。」と。倫理とは何の意味もないことが多いのです。倫理には、絶対的な真理がないことが多いからです。絶対的な真理がありません。教えてもらいたいのは、どうやって絶対的な正しい方向性を知れるのでしょうか？ なぜ分かるのか？ もしもあなたが、絶対的な正しい方向が何か分からないなら、どうして絶対的な真理を求めないのでしょうか？ ここには、何が絶対的な真理なのかあなたが知らないことを知るための紛れもない兆候があります。それは、このような発言をするようになった時です。「私は自分の仕事をしているだけ。」「命令に従っているだけ。」

軍隊でも、こんにち何が起こっているかが分かります。私が軍隊にいた時、「違法な命令には従うな。」と言われました。私たちは、ユダヤ・キリスト教の価値観に基づいて設立された憲法に従います。その価値観は決して変わることはありません。こんにちの価値観に問題はありません。問題は、倫理を優先させてしまったために、彼らが従わなくなったという事実です。このような絶対的な真理に沿っていた倫理観が、偽りの父の価値観に合わせるため変えられてしまったのです。最初は、大変巧妙です。今やそれが当然となり、それは私たちの国の中枢そのものになっています。真理の死です。何が悲しいかというと、真理を消し去ろうとする試みを抑制するまさにそのような人々、組織、国家が真理を知っているからこそ、自身をさらけ出すのです。彼らは知っています。だからこそ、抹殺したいのです。悔い改めない限り、その人たち全員に裁きが待っています。「ローマ人への手紙 2 章 5 節～8 節」神の御言葉をお読みします。

## ローマ人への手紙 2 章

5 あなたは、頑なで悔い改める心がないために、神の正しいさばきが現れる御怒りの日の怒りを自分のために蓄えています。

6 神は、一人ひとり、その人の行いに応じて報いられます。

7 忍耐をもって善を行い、栄光と誉れと朽ちないものを求める者には、永遠のいのちを与え、

8 利己的な思いから真理に従わず、不義に従う者には、怒りと憤りを下されます。

真の生ける神が、その御言葉通りに意味することを知り、主がここで言われていることをよく考えてください。「自分の仕事をしているだけ」と言う人々はそれを保護し奉仕すべき市民に嘘をつくことになるなら、恐らくこのことを考えるべきでしょう。「これやあれやの指導に従っているだけ」と言う人は、このことをよく考えるべきです。助けられたかもしれないと知りながら、それが人を苦しめたり、死なせたりするなら、神はご存知です。いわゆる指導者たち、考えてみてください。あなたは選挙で選ばれ、人々に仕えることになっています。なのに自分自身、あるいはあなたの父、悪魔に仕えているんですよ。真理を拒絶し、自分自身のために怒りを蓄え、その報いを受けるのです。これはいかなるタイプの怒りでもなく、神の御怒りです。知事や不法の者に警戒してください。こんにちの彼らが分かりますか？ 彼らは、犯罪者に同情しています。しかし真理と正義のために立ち上がっている人々を迫害します。また、邪悪なしもべや偽りの教師たちに警戒してください。真の生ける神に従っていると主張し、人間が言うことにすべて従っている。人の話に飛びつく。自分が主張している真理を否定することは、敵と床を共にするだけではなく、あなたは多くの悪魔をもたらす。それがあなただ！ 恥です。誰も驚かないでしょうね。予告されていても、目の当たりにするのは辛いし、さらけ出さないといけません。「第二ペテロ 2 章 1 節～3 節」神の御言葉をお読みします。

## 第二ペテロ 2

1 しかし、御民の中には偽預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも偽教師が現れます。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込むようになります。自分たちを買い取ってくださった主さえも否定し、自分たちの身に速やかな滅びを招くのです。

2 また、多くの者が彼らの放縦に倣い、彼らのせいで真理の道が悪く言われることになります。

3 彼らは貪欲で、うまくこしらえた話であなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは昔から怠りなく行われていて、彼らの滅びが遅くなることはありません。

これらは滅多に聞くことのない聖句です。彼らがこれらを言わないのには理由があります。なぜなら偽教師たちは、自分自身を参照することになるからです。私たちは、聖典の中に多数の議論の余地ある問題を抱えています。しかし、偽教師の特徴を議論することはその一つではありません。彼らは、霊的に見えるかもしれませんが、しかし、彼らはこの裁きとまどろむことのない滅びから逃れることはありません。神が見ておられます。彼らは教会から湧いて来ます。分かりますね？ 神が新しい啓示を彼らに語ったものと思われませんがしかし、それらの啓示は神の御言葉に反します。秘密教義/シークレット・ドクトリンは破壊的な異端です。聖書は、多くの人が従うと語ります。なぜか？ 彼らの生活様式にマッチするからです。それが理由です。それは、社会がやっていることと同レベルで、彼らはそれに同調します。この世がすることすべてをやっているなら、迫害される教会になるのでしょうか？ 考えてみてください。悟りを開いたと主張する人たちです。新しい言葉でいえば、クリスチャン・カルトの大元です。それが起こっています。姿や形、ファッションなどの方法において彼らは常にイエスを拒絶し、否定し、真理を冒瀆します。イエスは、ご自身の命をもって全額を支払われました。彼らはその力を否定します。彼らは「イ



イエスが最終的な御言葉ではない」と言い、主を否定します。あるいは「イエスは真の生ける神ではない」と言います。ではこれはどうでしょうか。「私たちがイエスのために、御国をもたらず。」(繁栄神学)あるいは、教会からイエスを追い出し、主を否定する。それが起こっています。彼らは、真理を冒瀆しています。この全ての背後には暗い理由があって、「第二ペテロ 2 章 3 節」の最初の部分に注目したいと思います。私に多くを語りかけてきます。再度、お読みします。この 3 節の最初の部分は、「貪欲」から始まります。(彼らは貪欲で) うまくこしらえた話であなたがたを食い物にします。貪欲さ。強欲。これが大きな結論の一つです。貪欲が他のすべての背後にある要因の原動力です。人が権力を求めるのは、欲があるからです。人は欲のために、必要以上のものを求めます。そこにたどり着くために、彼らは嘘をつきます。より欺瞞的な言葉で、人々から搾取するため、彼らはそこに留まります。この箇所では、教会の中にいる偽りの教師たちのことが語られていますが、これは、世界で使われているのと同じ手口です。なぜなら、この手口はこの世の悪魔から来るものだからです。皆さん、ついて来てますか？ 極めて重要です。なぜなら、これを言わば背景にして、一番の要が貪欲さだと話しながら、この最も人気のある聖句について考えてみましょう。「第一テモテ 6 章 10 節」神の御言葉をお読みします。

## 第一テモテ 6

**10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。**

お金自体が問題ではありません。お金を愛することが問題なのです。それが論点です。残念ながら、信仰心の強い人にも、お金が好きな人が多いと言われていました。偽りの教師がいるのは、当然目にしますよね。彼らはお金を愛します。世界の多くの国々と同様に、お金に恋しています。それが原因で、あらゆる悪がやって来ます。今読んだこの節は、実は、金持ち向けではありません。これは、私たちのような貧乏人や庶民に向けたものです。テモテには、このことを庶民向けに、信徒に説教するように言われていました。理由は、17 節で、使徒パウロは、金持ちに直接語るべきメッセージを話すからです。それについて考えてみてください。この種の愛、お金への愛は、憐れみなく、ただ盗み、殺し、滅ぼします。貪欲、権力、支配は、金への愛によって、最低限のレベルから一般庶民、大金持ちまで同様に影響を与えます。お金を愛する人は、みんなこの罠にハマります。考えてみれば当然のことです。それが金持ちだけなら、どうやって地球全体を一方向に操作できるでしょう？ いいえ。金を愛する全員です。少し遠回りになりますが、私はこれを「宝探し」と呼んでいます。聖書によると欲の要素と、権力と支配、そして邪悪な霊の群れが住む高い地位のために、どのように協調しているかを示すためだけです。漠然とした言い方をします。でないと、ユーチューブから削除されますので。本当に一般的に。しかし皆さんが、ただ要点を理解し、これらのものがどのように収束していくかを目撃するよう祈ります。OK。それでは！ 今や、その価値は 約 470 億ドルです。

2004 年、彼らは大手製薬会社の株式を 9 株購入しました。わかりますか？ よろしい。何です？私は何も言ってませんよ。いずれにしても、当時は、約 240 億ドルの価値があり、彼らはすでに言わば医療健康システム内部に入りました。そして彼らは、5 億ドルを超える金額を注ぎました。それは 2000 年当時だけの話です。また、貧しい国々が対象でした。エイズとの闘いは、彼らが自ら推進したことのひとつです。アメリカとは違って、資源を持たない第三の国々のために、より安価な薬を提供しようとしたのです。それで彼らは、株式以外の投資をしました。しかし今や、この記事では、トップの 3 大製薬会社を挙げています。ファイザー製薬、ジョンソンエンドジョンソン、そして、もう一社ああ、これはちょっとし

た合法的なかも知れないなと思いました。この会社はあまり聞いたことはないけど、きっと大きいのだろうなど。でも私は知りません。メルク・アンド・カンパニーという会社です。え？どうしました？私は「へ～そうなんだ。」です。しかし今日、3日前のことですが、この会社は、有望な抗コロナ治療薬の承認を FDA に求めている会社と全く同じだと知りました。これが本物の赤い薬剤です。(※マック牧師の表情から本音を読み取ってください。) —(笑)— 2004年の時点で、これは素晴らしい投資プランでした。そういうことだったのです。偉大なる計画だったのです。つまり、何と云えばいいのでしょうか。羨ましいとか、妬んでいるわけではありません。ただ言っているだけです。皆さんが、私が何を言っているのか理解されるのを願います。これは私にとっては絵になります。全てがはっきり明らかになってきました。製薬会社や医療関係企業に関わっているのは、彼だけではありません。しかし彼らは、自分の行動が影響を与えるようなレベルでただ投資するだけではなく、これはとんでもないことが起こっています。気が遠くなるほど、奇妙を超えています。先月も少しお話ししましたが、次のは、金への愛がいかにあらゆる悪を生み出すかを示す例です。今回、私は記事を読んでみたいと思います。これは、人間がどこまでやるかを示します。引用します。

「科学者たちは、世界初の試み、ヒトにサルの胚の培養に成功した。倫理的な問題を抱えながらも、急速に進歩している分野の最新の道しるべだ。」

しかし何が倫理的ですか？ でしょう？ 何が倫理的かは、誰が選びますか？ 引用続けます。

「この研究は、4月15日付の Cell に掲載された。サルの胚にヒトの幹細胞を注入し、その成長を観察。ヒトとサルの細胞が分裂して、一緒に成長する様子を観察し、少なくとも3つの胚が受精後19日目まで生存する。総評としては、すべての胚に異なる範囲で増殖・分裂する人間の細胞が含まれていた、とカリフォルニア州ラホーヤのソーク生物学研究所の生物学者であり、この研究を主導した研究者の一人であるフアン・カルロス・ベルモンテ氏は言う。」引用終了。

昨年、我が国の政府は、この機関に4,100万ドルを寄付しました。こんな風に頑張っているのは可能でしょう。「ああ、新技術を求めているんだな。」とか「臓器や人間の耳を開発するのです。」とか他にも何だと言って言えますよ。でも、ちょっと言わせてください。これは邪悪です。これは邪悪なことです。お金を愛すると、そうになってしまうのです。人は邪悪なことを夢見るのです。そして、それを「善」と言おうとする。「第一コリント15章38～39節」神の御言葉をお読みします。

## 第一 コリント 15

**38** しかし神は、みこころのままに、それにかからだを与え、それぞれの種にそれ自身のからだをお与えになります。

**39** どんな肉も同じではなく、人間の肉、獣の肉、鳥の肉、魚の肉、それぞれ違います。

科学という名の下に行われていることは、神の定めには反しているのではないですか？ 科学、悪のために、人間は境界を知りません。聖典は明確です。異種交配についてさえ、聖典は種を混ぜることについて語っています。この世の邪悪な行為は、神への恐れがないため、これらのことは考慮されません。人々は裁きが来ることに気づいていません。また、1マイクロミリも何が起こるのかを考えることもないようです。他に何の余談があるのか、と。そう、人間は、操作することで、神の創造物に打ち勝ったように見えるかもしれません。神が最後に仰います。人間の先進的な実験、遺伝子組み換え、何を成し遂げたと思っても、それは通用しません。「マタイの福音書15章13節」神の御言葉をお読みします。

## マタイ 15

### 13 イエスは答えられた。「わたしの天の父が植えなかった木は、すべて根こそぎにされます。」

一つ残らず。神が創られたものでなければ、破壊されます。人の手で作られたもの、研究所で作られたあらゆるもの、例外はありません。主はそれを終わらせ、すべて根こそぎにされます。また多くの人が、現在のパンデミックを神の裁きと思っているのが、私には興味深いです。このパンデミックは神の裁きではありません。これは人間の無知です。私たちはそれを目撃しているのです。子羊の怒りがどのようなものか、聖典からほんの少しだけお見せしましょう。イエス・キリストが自分の主であり、救い主として真に受け入れていない全て人が、まだ生きていればこれを目撃するでしょう。もし、あなたが自分の罪の中で死んで、どんな区画でも死者の住まいに横たわった後、次にあなたが目が覚めれば、神に直面するためであり、白い御座の裁きの時です。聖句が語る第二の死の前です。しかし、主がなさるため用意されているこれらの裁きを見てみましょう。「ヨハネの黙示録 6 章から 8 章 1 節」、この人物が偽りの平和をもたらすことで、世界は惑わされると言われています。その後、かつて見たことがない戦争が起こる。教会は取り去られて（携挙され）ていますからね。かつてないほどのインフレ。資源の不足。聖書には、かつて経験したことのないような大規模な飢饉のことが書かれています。注意を払わなければなりません。かつてないほどの、です。それって何か？ 聖典からも、歴史からも垣間見ることができます。考えてみてください。ここでは、かつてないほどの飢饉が発生します。これについては、「第二列王記 6 章 24～30 節」にあります。神の御言葉が語ります。当時二人の母親がいました。その話を覚えていますか？ 彼女たちは非常に空腹だったのです。彼女たちは、互いの子どもたちを食べることに同意するのです。主がもたらされるこの飢饉は、主ご自身がさらに酷いものになさるでしょう。それから、さらに世界的な戦争が起こり、資源の不足のためなので、理に叶いません。人々はそのために戦い、さらに死が、さらに飢饉が生じます。実際に、地上の 4 分の 1 の人間が殺されます。そして、神の御言葉は確かに真実であり、教会は正しかったと気づき始めた人々が、数千人単位で殺されます。地震が、宇宙の擾乱に伴って発生し、その後、11 章 19 節までに、地上の草木の 3 分の 1 が破壊され、船という船の 3 分の 1 が破壊され、水の 3 分の 1 が毒となり飲めず、太陽の光は、3 分の 2 しか照らない。5 ヶ月間、人を苦しめるために、悪魔のようなイナゴの群れが解き放たれます。殺すためではなく、苦しめるためにです。そして、4 人の御使いが解き放たれ、さらに人間の 3 分の 1 を殺します。その後、本当の破壊的な裁きが始まります。16 章 2 節です。刻印を受けた者に悪性の腫れ物が出来る。こんにち、人々が刻印・しるしを受けるのは本当に簡単です。体制が整っています。すべてが書かれていて、映画も作られました。しかしこの世、死にゆく世を愛するがゆえに、多くの人が嫌々従うでしょう。悪が非常に愛されているので、神の愛を見ることはできません。「第二コリント人への手紙第 4 章 3～4 節」に記されているこのことに気づかされます。お読みします。

#### 第二コリント 4

**3 それでもなお私たちの福音に覆いが掛かっているとしたら、それは、滅び行く人々に対して覆いが掛かっているということです。**

**4 彼らの場合は、この世の神が、信じない者たちの思いを暗くし、神のかたちであるキリストの栄光に関わる福音の光を、輝かせないようにしているのです。**

人々は意図的に目隠しして歩んでいます。神を拒絶し、自分が受けるであろう裁きを考えずに。この裁きは続きます。次に、海が死人の血のようになり、生物が全て死ぬ。そして水源が血になります。これを考えてみてください。子羊の血潮を選ばなかった人が、血しか飲めないよう強いられます。どんな匂いなの

でしょうか。その時、彼らがするマスクはどんなのでしょうか。そして、第四の御使いが鉢を注ぐと、太陽が人間を火で焼きます。(黙示録 16:8) これは、地球温暖化を証明しようとするための気温上昇ではありません。これはそういうことではありません。これは、太陽が人々を焼いて、肌が焼けこげるのです。一度映画を見たことがあります。”リディックのクロニクル”だったと思います。太陽に焼かれないよう日陰にいななければならない、というようなシーンがありました。彼らが一瞬でもいいから外に出たとき、ジュウツと音がして、その温度が想像できます。悲惨です。

**この焼き殺す太陽の後、王国は闇に覆われ、人々は苦しみ悶えて自分の舌をかむ。(黙示録 16:10)**

エジプトの第9の災いを思い出します。そしてこれは完全な闇、完全な闇です。おそらく急激に気温が下がって、今は凍えています。単なる思いつきですが、可能性はあります。その後、ユーフラテス川が干上がり、悪霊が解放されます。彼らは、真の生ける神に反逆するため、ハルマゲドンと呼ぶ最後の戦いの舞台に国々を集めます。そこは、神の子羊がその再臨の輝きで全てを滅ぼされます。これが神の御怒りです。こんにち起こっていることの許容範囲は、真の生ける神に反抗し続けることを選択した場合、人々が目撃することと一致しません。「エゼキエル書7章7節～9節」最後にこの聖句で締めくくります。神の御言葉をお読みします。

**エゼキエル書 7**

**7 地に住む者よ、あなたの上に終局が来る。その時が来る。その日は近い。山々での歓声の日ではなく、恐慌の日だ。**

**8 今、間もなく、わたしは憤りをあなたに注ぎ、わたしの怒りをあなたに出し尽くす。あなたの生き方のおりにあなたをさばき、あなたのすべての忌み嫌うべきわざに報いる。**

**9 わたしはあわれみをかけない。惜しまない。忌み嫌うべきことが、あなたの中にあるうちに、わたしはあなたの行いのおりに報いる。このとき、あなたがたは知る。わたしがあなたがたを打つ主であることを。**

この全てが起こります。主は裁かれます。そして、誰もが主の御怒りを目の当たりにしないチャンスがあります。繰り返しますが、これが今夜の厳しいトピックです。忘れてはならないのは、人々を主の下へ引き寄せるための、神の裁きではありません。そうではありません。悔い改めに導くのは、神の善であると聖書に書かれています。(ローマ 2:4 参照)

私たちクリスチャンは、その神の善を示す必要があります。世が暗くなっても、私たちの光を輝かせ、世に迎合しない。しかしながら、時に、神の良さを思い起こさせるのが、神の裁きです。それが嫌なら、善を求める。私の考えでは、それが賢明な選択です。このような経験をしたいと誰が思いますか？ 肝心なのは、邪悪な道から立ち直り、生きること、真の生ける神、イエス・キリストに立ち返ることです。ご起立ください。祈りましょう。

お～主よ。永遠の御父よ。全く厳しい学びです。私たちの誰しもが聞く必要があります。私たちに残された時間で、主よ、私たち一人一人に与えられたあなたの完全な御心をただ実行し、恥じることなく、時間が短いことを知りながら、この暗い世界を照らしながら前進することを祈ります。あなたの裁きは近づいています。あなたの聖霊の御力によって、私たちに力を与え、新たな油を注ぎ、大胆な戦士にしてください。あなたの御言葉を、あなたが私たちに置かれたレベルで保持し、あなたが私たちを家に連れて帰られるまで、忠実なしもべ、証人であり続けますように。今も、そしてこれからも、私たちと一緒にいてください。救世主イエス・キリストの力強い御名によって祈ります。アーメン。



-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7